

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしやわかこま		
	制作団体名	有限会社若駒		
	代表者職・氏名	代表取締役・小池真沙子		団体ウェブサイトURL
				http://www.wakakoma.co.jp
	制作団体所在地	〒 534-0021	最寄駅(バス停)	大阪メトロ谷町線「都島」
		大阪市都島区都島本通2-4-9		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	みんぞくげいのうあんさんぶるわかこま		
	公演団体名	民族芸能アンサンブル若駒		
	代表者職・氏名	代表・藤原正憲		団体ウェブサイトURL
				http://www.wakakoma.co.jp
	公演団体所在地	〒 534-0021	最寄駅(バス停)	大阪メトロ谷町線「都島」
		大阪市都島区都島本通2-4-9		
	制作団体 設立年月	1989年9月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役 小池真沙子 取締役 藤原宏行 取締役 吉田亜貴子	〈構成員〉 企画制作演技部6名 〈加入条件〉 1年間の見習い、3年間の準団員期間を経て実技の入団試験と面接。	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	藤原正憲
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	櫻田舟完・飯伏泰久
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		geinou@wakakoma.co.jp		0669261244

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	【有限会社 若駒】 1969. 5. 1 大阪市城東区において設立、大阪歌舞団若駒と称す 1971. 全国児童・青少年演劇協議会 加盟 小、中、高、学校での公演活動が始める。 1982. 6 民族芸能アンサンブル若駒 と改称 1989. 9 有限会社 若駒 と法人格を有す 1997. 7 日本児童・青少年演劇劇団協同組合 加盟
	学校等における公演実績	近畿地方の保育園・幼稚園・小学校・中学校を中心に、全国のおやこ劇場、子ども劇場などで、年間100ステージ以上上演。 若駒は、1969年結成以来7000ステージを超える公演と、約100万人の子ども達に民族芸能、児童劇の公演を届けています (直近) 令和3年度、富山子ども劇場、彦根おやこ劇場、特定非営利活動法人さぬキッズコムシアター、NPO法人横浜こどものひろば、亀山こども劇場、NPO法人こども未来ネットワーク 令和4年度、負けない忘れない3,11びつくり箱part11、七尾子ども劇場、貝塚ファミリー劇場 令和5年度、堺市立東百舌鳥小学校、明石おやこ劇場、八日市市立八日市西小学校、堺市立市小学校、豊中池田おやこ劇場、浜松子ども劇場 令和6年度、赤磐子どもNPO、吹田市立第一小学校、平群町立平群小学校、尼崎子ども劇場、清水おやこ劇場、子どもステーション山口 令和7年度、豊中市立豊島小学校、(特非)あそびあーとこども劇場いるま、八尾市立上之島小学校、奈良市立佐保川小学校、平群町立平群北小学校、稲沢おやこ劇場、長野北部子ども劇場
	特別支援学校等における公演実績	この作品を本事業以外で特別支援学校にて上演した実績はございませんが、日本の伝統芸能を構成した作品は、近畿地方の特別支援学校にて上演しております。 また、小学校公演での支援学級の児童の皆さん、一般公演では障がい者の方にも多数ご覧頂いております。 近畿地方の支援学校・特別支援学校にはダイレクトメールにて「芸術鑑賞会」のご案内もしており、上演実施にむけて取り組んでいます。

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/SOCokPPfN9A	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

【公演団体名 民族芸能アンサンブル若駒 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○		
		小学生(高学年)	○	中学生	-		
	企画名	でべそ版ずっこけ狂言ぼんさん・ぼんさんギンナンパー					
	企画のねらい	この作品は、伝統芸能狂言を原作とし、翻案・演出を施すことで、伝統の笑いと現代の笑いが融合して質の高い新しい笑いを生み出し、子供たちに親しみやすく伝えることを目指しています。 初めて狂言に触れる小学生にとっても分かりやすく鑑賞でき、その魅力が伝わるように、伝統の所作と現代の表現方法を駆使し、演じる側と観る側が互いの想像力を掻き立て、舞台空間を埋めていくことを目的としています。 また、人間は賢さも愚かさもみな同じように持っています。そのことを理解していれば、誰もみなゆったりと広い心をもっていたわり合いながら仲良く楽しく生きていけるという事が、この作品をとおして児童の皆さんに伝わることを目指します。					
	演目概要・演目選択理由	この作品は、伝統芸能である狂言「盆山」「伊呂波」「菌」を原作として、翻案と演出を施した演劇です。「ぼんさん」「いろは」「くさびら」さらに「みんなで体験狂言ワークショップ」という四つの演目で構成されています。 狂言は人間賛歌の劇です。その狂言に翻案と演出を施し、円形舞台で演じられるこの作品は、その実績と完成度においてもすぐれた作品であり、質の高い文化芸術の鑑賞作品として適しています。 円形舞台を取り囲んで観るスタイルと、伝統の笑いと現代の笑いの要素をコラボレーションして生み出した質の高い新しい笑いが、初めて狂言に触れる子供たちにも、狂言の持つ普遍的な面白さが伝わり、演劇作品としての完成度が高い作品であるため。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	本公演で行う「みんなで体験狂言ワークショップ」の中で、狂言の所作を取り入れた「狂言体操」と狂言の所作を真似する「所作真似」を体験します。また、児童の皆さん全員が、「くさびら」の中で芝居に参加します。事前のワークショップで、狂言の基本を体験し、後日クラフト紙でキノコの帽子を作ってください。ワークショップに参加できなかった児童のためには、ワークショップ当日お渡ししたDVDを見てキノコ帽子を作り、動き方などを稽古していただき、本公演では、「くさびら」のお話の中で、キノコが増え続ける時に、役者のセリフの合図で自分で作ったキノコの帽子をかぶり、キノコの動きをし、代表の児童が登場人物の狸と(あっちむいてほいで)戦います。そして法印の祈祷によりキノコは敗れ、児童の皆さんは帽子を脱いでキノコの動きを止めるという一場面を演じます。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	300人(客席でキノコになって出演する)			
			鑑賞人数目安	300人			
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【プログラム構成】 1, テーマソング演奏 2, 「ぼんさん」上演 3, 「いろは」上演 4, 「みんなで体験狂言ワークショップ」児童と一緒に体験する 5, 「くさびら」上演 原作: 狂言「盆山」「伊呂波」「菌」 脚本・演出: 松本則子					
	公演時間	80	分				
出演者	藤原正憲 藤堂真沙子 誉田創観 中田達幸						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	藤原正憲: 1984年入団 第8回津軽三味線全国大会in神戸にて文部科学大臣賞受賞 藤堂真沙子: 1997年入団 京舞井上流名取り 琴生田流筑紫会師範 平成13年度なにわ芸術祭新人奨励賞受賞 誉田創観: 1998年入団 京舞井上流名取り、長唄今藤流名取り 平成17年度なにわ芸術祭新人奨励賞受賞						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	4	名	運搬	積載量:	1	t
	スタッフ:	1	名		車 長:	5,38	m
	合 計:	5	名		台 数:	1	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～10:00		10:40～12:00	0	13:00～14:30	15時00分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月
	10日						
	10月		11月		12月		1月
	10日		10日		5日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計	#VALUE!
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)	<div>でべそ版ずっこけ狂言「ぼんさん・ぼんさんギンナンパー」</div> <div>仕込み図</div> <div></div> <div>(図1) 会場仕込み図 会場設営に必要な広さ 約17m×17m</div> <div></div> <div>舞台</div>						
	<div></div> <div>(図2) 終演時の舞台</div> <div></div> <div>(図3) 「くさびら」上演の様子</div>						
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 民族芸能アンサンブル若駒】

ワークショップのねらい

事前にワークショップをする事で、本公演作品また、そのもとになっている狂言への興味がわき、演じること、表現することの難しさを知ると同時に、表現することの楽しさを体験出来ます。さらに狂言に対する理解が深まるよう、児童の皆さんが抱く興味や発見、関心を大切にし、能動的な学びの創出を目指します。そして、本公演ではワークショップで学習した「くさびら」の一場面に出演する事で、本公演への興味と意欲が高まる事を目指し、出演することで達成感が得られるようにします。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

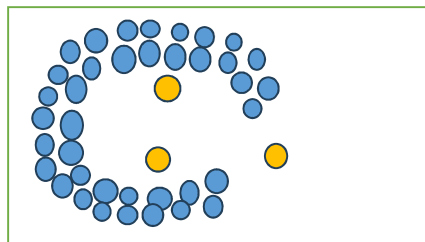
300名

ワークショップ実施形態及び内容

標準:90分
3人の指導者が学校に直接指導に行きます。
1、挨拶自己紹介をして、本公演で上演するでべそ版ずっこけ狂言ぼんさん・ぼんさんギンナンパーについて簡単に説明します。
2、作品のもとになっている、狂言について、650年前にできた面白いお芝居であること、等説明します。
3、説明だけでなく作品のもとになっている狂言を、クイズを行いながら分かりやすく紹介します。足袋はなぜ黄色いのか、動物の鳴き声を狂言の型で行い動物名を尋ねる等。
4、短いずっこけ狂言、学校所在地の名産品や学校名を盛り込んだ(ご当地狂言)の実演を行います。
5、対象となる学年の児童に、狂言の基本姿勢、歩き方等を指導します。その際、太郎冠者や大名など、役柄の特徴が出ている児童を選んで、舞台上で発表していただきます。
また、指導者と児童のどちらが早く基本姿勢ができるか、指導者の合図で比べてみたりして児童との交流をはかります。
6、その後、本公演作品の中の「くさびら」に出演するため、キノコの動き方(えのき、しめじ、舞茸の3種類の動き)を覚えていただき、それぞれ三つのキノコのグループに分かれて、キノコ帽子をかぶるタイミング、それぞれのキノコの動きを始めるタイミングを練習します。
そして、キャストの狸との戦い方(あっちむいてはい)の練習をします。
最後に出演シーンを最初から通して本公演に向けて本番通りに行います。
※キノコ帽子は、作り方の動画のDVDと材料のクラフト用紙を当日持参し、ワークショップが終わって後日、本公演までに、先生と一緒に作って当日それぞれ会場へ持って来ていただきます。ワークショップから本公演までの期間ワクワク感が持続するように、さらにワークショップで膨らんだキノコのイメージを、それぞれの児童の個性あふれるキノコ帽子として出来上がるよう、あえてワークショップ後に作っていただきます。
7、事後に児童、先生方と役者が、感想を話したり、質問に答えたりします。

その他ワークショップに関する特記事項等

図4 ワークショップの形態 ● 児童 ● 指導者



ワークショップ学習コンテンツ

キノコ帽子の作り方動画
<https://youtu.be/Y1FS-Uf3CIA>
 キノコの動き方、戦い方
https://youtu.be/hUpkk_oKug

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 民族芸能アンサンブル若駒 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		2F以上可(エレベーター必須)		主幹引き込み電源容量		0 A以上	
舞台設置面積	間口	5 m		奥行	10 m		
	高さ	4 m					
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		不可	
搬入間口の広さ	幅	1,8	m	高さ	1,8	m	
遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否		あれば使用する可能性がある		
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否				
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		15 m以内		
搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	1,88	m	車長	5,38	m	
備考	フロアに円形舞台と通路舞台袖を設営し、舞台を取り囲むように客席を設営します。						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

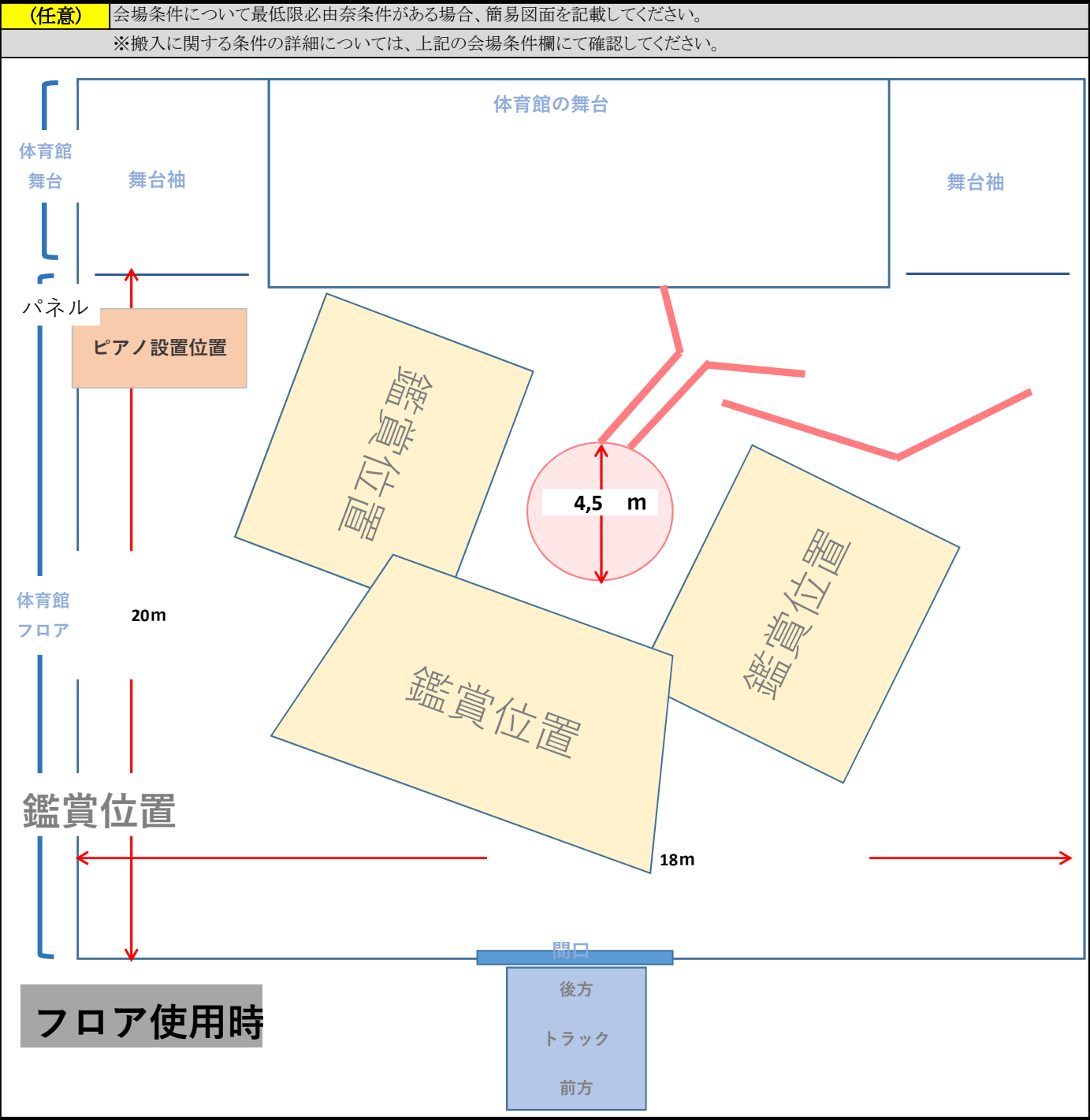
学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	15分～30分	特に制限はありません	キノコ帽子をクラフト用紙を使って作成する	クラフト用紙をワークショップの際に児童数プラスアルファと、作り方のDVDをお渡しします。
	ワークショップ					
	本公演					
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

会場簡易図面



フロア使用時

体育館の舞台

舞台袖

体育館
舞台

舞台袖

パネル

ピアノ 設置位置

20m

体育館
フロア

鑑賞位置

18m

4,5 m

間口

後方

トラック

前方

別添

なし

【公演団体名 民族芸能アンサンブル若駒】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

若駒は1969年の結成以来、我流や自己満足でない品格のある質の高い舞台芸術の創造に力を尽くすという思いでこれまで活動してまいりました。狂言のシンプルな舞台空間、余分なものをそぎ落とした凝縮された表現スタイル、ユーモアにあふれる笑い、そして無限に広がる想像の世界。

子ども達にその狂言の魅力、面白さを伝え、伝統芸能の持つ普遍的な面白さと、現代の笑いとが融合して舞台と客席が一体となって楽しめる公演を実施し、子ども達の限らない想像力と豊かな感性を育みたいと思います。

また、ワークショップの体験と、本公演の鑑賞を通して、表現することの楽しさ、難しさを児童の皆さんに伝えたいと思います。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

古典芸能狂言をそのまま演じるのではなく、私たちだからこそ伝えられる表現方法を試行錯誤し、原作に翻案・演出を施しました。

その結果、セリフが子ども達にも分かりやすくなり、ストーリーがより鮮明に理解できるようになりました。

演出を施したことで、笑いの場面でも低学年からはっきり理解できるようになりました。

また、舞台を円形にし、円形の舞台を取り囲むように客席を設置することで、身近に演技に接することが出来るようにし、役者の動きや表情、感情表現が伝わりやすくなるように工夫しました。

演目に「みんなで体験狂言ワークショップ」を取り入れ、「狂言体操」、「所作真似」を体験することで、表現することの楽しさ、難しさが理解できるように工夫しました。

さらに「くさびら」の中では、鑑賞児童全員がキノコ帽子をかぶりキノコとなって出演するシーンを作りました。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

ワークショップ、本公演共に実施に当たっては、校長先生、ご担当の先生へ電話、メール、FAXなどを用いて密に連絡を取り、信頼関係を築き、疑問点ご不明な点なことなどあった場合には、早急に的確に対応できるよう努めます。

そのために、担当者は経験豊富な社員を配置し、必要に応じてスケジュール表、イレギュラーな事案についての対処法などを提供できるように準備しておきます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

事前に必ず担当の先生と、配慮の必要な児童の有無を確認し、その児童の状態に応じて、別室でのリモートでの鑑賞等、必要とされる対策を柔軟に行います。配慮の必要な児童への体制を整えたうえで、児童の皆さんには「くさびら」の中でキノコとして出演していただきます。リモートで鑑賞の児童、事前のワークショップに参加出来なかった児童は、ワークショップ当日にお渡しするDVDを見て、事前学習をしていただき本公演に臨んでいただきます。その際児童は自分で作ったキノコの帽子をかぶり、キノコの動きをします。事前ワークショップで得た経験、技術、DVDを観ての事前学習の成果を存分に発揮できるよう、また一度きりの挑戦が貴重な実りある経験となるよう出演者、舞台監督がサポートします。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップ本公演共に、動画、写真の撮影を許可し、ワークショップ本公演を体験、鑑賞した後も振り返りができるようにします。撮影した動画、写真を参考にして、発表会等に活用することで、鑑賞後も継続的に学習する事ができます。また、感想文を頂いた学校には、お返事を書いて送り、継続的に交流が続くようにします。

そして私共のHPに、作品のページを作り、本公演鑑賞作品だけでなく、狂言に関する書籍を紹介し、メールファックス等で質問感想など受けられるようにし、ワークショップ本公演を体験、鑑賞した後も、継続的な学びにつながるよう努めます。

項目内容 演目概要